

	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
3年	<p>① 1学期始めに実施した「東京ベーシックドリル（前学年の基本診断シートB-1）」の平均正答率は87.2%であった。1学期末に実施した「計算名人検定」の平均正答率は83.2%であった。</p> <p>② 4学級5展開で習熟度別指導をしている。全体人数が少ないため、発展コースは28名、基礎コースを23名程度、補充コースを15名程度に設定している。かけ算や加減法の学習が定着していない児童がいるため、処々苦戦する児童が見られた。</p>	<p>①コース人数の少なさを生かし、「かけ算の筆算」では個に応じた指導を実施し、知識・技能面の向上を目指す。</p> <p>②補充コースに学習支援ボランティアを配置する。計算で躓く児童に個に応じた指導を行う。</p>	<p>①単元テストの状況を学年で共有し、学習内容の理解度を確認する。学期末の計算名人検定で、基礎的な計算力が身に付いているか確認する。</p> <p>②「考えを共有する時間」を授業の中に設定し、自分の考えを発表する機会を増やすことで考えの変容を確認する。</p>
4年	<p>① 1学期始めに実施した「東京ベーシックドリル（前学年の基本診断シートB-1）」の平均正答率は82.6%であった。1学期末に実施した「計算名人検定」の平均正答率は47.1%であった。</p> <p>② 3学級4展開で習熟度別指導をしている。全体人数が多いため、発展コースは30名以上、補充コースは15名程度に設定している。 積極的に発言する児童が多い。「小数」など学習内容が抽象的になると、定着に課題が残る児童が多く見られた。</p>	<p>① 「わり算の筆算」では、コースに応じた練習問題を準備したり、個に応じた指導を実施したりして、習熟の差を解消する取組を行う。</p> <p>② 補充コースに学習支援ボランティアを配置し、個別に対応することで、基礎基本の定着を図り、知識・技能面の向上を目指す。</p>	<p>① 単元テストの状況を学年で共有し、学習内容の理解度を確認する。学期末の計算名人検定で、基礎的な計算力が身に付いているか確認する。</p> <p>② 授業終盤で必ず適応問題に取り組み。全員で確認する時間を設け、全員が知識・技能を習熟できたか確認する。</p>
5年	<p>① 1学期始めに実施した「東京ベーシックドリル（前学年の基本診断シートB-1）」の平均正答率は74.8%であった。1学期末に実施した「計算名人検定」の平均正答率は30.8%であった。</p>	<p>① 習熟度に合った指導を行う。発展コースでは基礎基本が身に付いている児童が多いため、適用問題を精選して取り組む。補充コースでは、基本的な問題に年間を通して繰り返し取り組み、確実な定着を</p>	<p>① 単元テストの状況を学年で共有し、学習内容の理解を確認する。学期末の計算名人検定で、「小数のかけ算・わり算」を中心に、基礎的な計算力が身に付いているか確認する。</p>

	<p>② どのコースでも積極的に発言をする児童が多い。補充コースでは、「分からない」と素直に言える雰囲気があり、理解できるまでみんなで考えたり、問題に取り組んだりすることができる。</p>	<p>図る。</p> <p>② 補充コースに学習支援ボランティアを配置し個に応じた指導を行う。基礎的な計算練習の時間を定期的に設定する。</p>	<p>② 自力解決の時間を十分に設定する。ノートを集め、適用問題や授業感想から本時の内容がどれくらい理解できているか確認する。机間指導を通して、自力解決の状況を確認する。</p>
6年	<p>① 1学期始めに実施した「東京ベーシックドリル（前学年の基本診断シートB-1）」の平均正答率は69.3%であった。 1学期末に実施した「計算名人検定」の平均正答率は83.9%であった。</p> <p>② 発展・基本コースでは、発言する児童が固定している傾向にある。補充コースの児童は、既習事項を全体で確認してから、自力解決に取り組んでいる。</p>	<p>① 発展コースでは、基本的な事項がしっかり理解できている児童が多いため、発展問題を精選し取り組んでいく。補充コースは1学期に学習した分数の計算の学習で、約分を処理する定着度が低かったため、今後も継続的に取り組んでいく。</p> <p>② ペア学習やグループ学習を取り入れ、考えを友達と交流する集団検討の場を設定する。発展コースでは、統合的に考えたり、発展的に考えたりできるようにする。</p>	<p>① 単元テストの状況を学年で共有し、学習内容の理解を確認する。学期末の計算名人検定で、「分数のかけ算・わり算」など、基礎的な計算力が身に付いているか確認する。</p> <p>② ノートを集め、適用問題や授業感想から本時の内容がどれくらい理解できているか確認する。一人一人の考えの変遷を確認し、特に補充コースでの個別指導に生かす。</p>